

2 成人・老人保健

本市では市民の健康の保持・増進を図るため、健康増進法第 17 条第 1 項及び第 19 条の 2 に基づき、健康相談、健康教育、各種がん検診等の健康増進事業を実施している。

また、健康増進法に基づく事業以外に、胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を実施している。

（1）大津市がん対策推進基本計画

「大津市がん対策推進条例」に基づき、がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援などのがん対策について総合的かつ計画的に推進するために、この計画が策定された。

平成 30 年 10 月からは、『アピアランスケア支援事業』を開始し、がん患者の療養生活の質的向上のため購入する補整用具（ウィッグ・帽子）の購入に係る費用を助成している。

助成対象者

抗がん剤治療等の副作用による脱毛症状に対処するためにウィッグや帽子を購入し、現にがん治療を受けている、又は過去にがん治療を受けていた市民

助成金額 補整用具の購入に要した費用に相当する額と、10,000 円のいずれか少ない方の額

申請 助成対象者 1 人につき、生涯 1 回限り

申請状況

（令和元年度）

合計	男性	女性
124 人	5 人	119 人

（2）健康手帳の交付

健（検）診の記録や保健指導の記録等を記載し、自らの健康管理に役立てるために、おおむね 40 歳以上の希望者に対して健康手帳を交付している。

健康手帳交付状況

交付数
1,408 冊

（3）健康教育

生活習慣病や疾病の予防、介護を要する状態となることの予防、その他健康に関する事項について正しい知識の普及を図るとともに、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的に各すこやか相談所において健康教育を実施している。

各すこやか相談所において地域住民を対象に地域の健康課題に応じた健康教育を企画し、実施している。また、各学区の地域組織や各種団体の依頼に応じ、生活習慣病予防等の健康教育を市民センターや地域自治会館等において実施している。

集団健康教育実施状況

〈健康増進事業〉

（単位：回・人）

区 分	合 計	骨粗鬆症予防	健康増進	メタボリックシンドローム	食生活	がん予防	生活習慣病予防	禁 煙	他の疾病予防
開催回数	59	13	9	4	9	14	8	1	1
参加延人数	1,597	291	365	96	180	166	289	200	10

〈介護予防普及啓発事業〉

(単位：回・人)

区分	合計	介護 予防	転倒 予防	食生活	口腔 ケア	がん 予防	閉じこも り予防	認知症 予防	健康 づくり	骨粗 鬆症	地域 づくり	生活習慣 病予防	他の疾 病予防
開催回数	130	38	12	13	2	1	—	6	24	6	3	3	22
参加延人数	2,813	808	353	299	46	20	—	150	351	111	105	80	490

(4) 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、生活習慣病や疾病の予防及び健康の保持増進を図っている。各すこやか相談所においては、毎日（祝祭日及び土、日を除く）健康相談室を開設し、市民の健康に関する相談に応じている。また、地域によっては、市民センターやショッピングセンターでの健康推進課相談日を設けている。さらに地域からの依頼により、各学区老人クラブ等を対象とした健康相談も実施している。

健康相談実施状況

(単位：回・人)

相談方法	実施 回数	相談延人数				相談延件数											
		母子	成人・ 老人	精神	合計	母子					成人・老人					精神	合計
						乳児	幼児	妊産婦	思春期	小計	重点	64歳 以下	65歳 以上	小計			
すこやか	1,687	4,355	302	355	5,012	4,325	1,972	42	12	6,351	—	94	208	302	376	7,029	
来所 相談	学区定例	69	853	19	—	872	878	549	2	—	1,429	—	5	13	18	—	1,447
	老人クラブ	51	—	809	—	809	—	—	—	—	—	—	70	739	809	—	809
	その他	130	992	321	1	1,314	594	693	—	—	1,287	—	68	253	321	1	1,609
	小計	1,937	6,200	1,451	356	8,007	5,797	3,214	44	12	9,067	—	237	1,213	1,450	377	10,894
	電話相談	—	1,042	140	1,711	2,893	676	404	102	13	1,195	—	95	49	144	1,727	3,066
	合計	1,937	7,242	1,591	2,067	10,900	6,473	3,618	146	25	10,262	—	332	1,262	1,594	2,104	13,960

(5) 訪問指導

療養上の保健指導が必要と認められる者及びその家族等に対して、各すこやか相談所の保健師等が家庭を訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図っている。健康増進法に基づく訪問指導は、40歳から64歳までの市民が対象となっている。

訪問実人数(人)	1	訪問延人数(人)	1
----------	---	----------	---

(6) 肝炎ウイルス検診

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減、又は進行の遅延を図ることを目的として、肝炎ウイルス検診を実施している。事業を開始した平成14年度は老人保健法に基づき実施し、平成20年度からは健康増進法に基づき実施している。

また、国の「肝炎ウイルス検診等実施要領」の一部改正により、平成23年度から個別受診勧奨として、年度年齢41歳から61歳の5歳刻みの節目年齢で、過去に肝炎ウイルス検診を受診していない者に対して無料クーポン券を送付している。さらに、平成28年度からは検診初年度となる年度年齢40歳の者に対し無料クーポン券を送付し、受診促進を図っている。

平成29年度より、従来の医療機関委託による個別方式に加え、集団特定健診と同時実施による集団方式を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

対象者

当該年度において40歳以上の市民で、以下のいずれかに該当する者。原則生涯に1回。

ア 過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない者

イ 特定健診及びその他の法令に基づき行われる特定健診に相当する健康診断の結果において、肝機能検査の数値のうち、いずれか1つでも保健指導判定値であった者

実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式

検査内容 B型肝炎ウイルス検診及びC型肝炎ウイルス検診

検診料 1,000円

(ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

実施方法別受診者数

個別方式 5,932人 集団方式 354人 (15回実施)

無料クーポン券利用状況

対象者数 24,064人 受診者数 2,041人 利用率 8.5%

年齢別性別検診結果

(単位：人)

区 分			総 数		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70歳以上		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数			6,286	3,296	454	620	267	264	161	222	169	209	270	320	475	501	1,194	1,160	
検診結果	B型	陽性	13	9	4	0	1	0	2	0	0	0	1	0	2	0	3	4	
		陰性	6,273	2,981	3,292	454	620	266	264	159	222	169	209	269	320	473	501	1,191	1,156
	C型	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」	7	5	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2
		「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」	6,279	2,985	3,294	453	620	266	264	161	222	169	209	269	320	475	501	1,192	1,158

(7) がん検診

がん検診は、老人保健法に基づく健康診査として実施（補助金による財源措置）し、平成10年度からは老人保健法に基づく健康診査から除かれ、一般の疾病対策の一環として実施していた。平成20年度より健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけられ、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針について」に基づき実施（地方交付税による財源措置）している。

① 胃がん検診

胃がんの罹患率、死亡率は減少傾向ではあるが、男女とものがんによる死亡の上位を占めている。本市では、胃がんを早期発見・早期治療することで、胃がんの死亡率を減少させることを目的として胃がん検診を実施している。集団方式による胃部エックス線検査に加え、平成30年2月からは胃内視鏡検査を医療機関委託により個別方式でも実施している。

また、大津市胃がん検診協議会を設置して検診の精度管理を行っている。

ア. 胃部エックス線検査

対象者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 検診車による集団検診(検診機関への委託)

単独検診：各学区市民センター等において実施：57回

5がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)セット検診：1回

検査内容 バリウムによる胃部エックス線検査

検診料 1,000円

(ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

胃部エックス線検査結果

(単位：人・%)

	全年齢			(再掲) 40～69歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	108,101 (53,324)	40,742 (24,406)	67,359 (28,918)	48,098 (33,010)	16,327 (15,245)	31,771 (17,765)
受診者数	1,805 (1,026)	770 (507)	1,035 (519)	1,113 (627)	403 (300)	710 (327)
受診率	1.7	1.9	1.5	2.3	2.5	2.2
要精検者数	73	36	37	34	15	19
要精検率	4.0	4.7	3.6	3.1	3.7	2.7
精検受診者数	61	29	32	28	10	18
精検受診率	83.6	80.6	86.5	82.4	66.7	94.7
胃がん	2	-	2	-	-	-
がん発見率	0.1	-	0.2	-	-	-

※精密検査受診結果については令和2年5月31日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※() (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和2年5月31日現在)

(単位：人・%)

区分	総数		40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70歳以上		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数	1,805	770	1,035	91	218	43	77	22	65	22	71	54	95	171	184	367	325
(再掲)初回受診者数	598	213	385	70	157	15	37	9	21	5	29	9	33	45	38	60	70
初回受診割合	33.1	27.7	37.2	76.9	72.0	34.9	48.1	40.9	32.3	22.7	40.8	16.7	34.7	26.3	20.7	16.3	21.5
精検不要者数	1,732	734	998	89	211	43	77	21	63	22	67	52	93	161	180	346	307
要精検者数	73	36	37	2	7	-	-	1	2	-	4	2	2	10	4	21	18
要精検率	4.0	4.7	3.6	2.2	3.2	-	-	4.5	3.1	-	5.6	3.7	2.1	5.8	2.2	5.7	5.5
精検受診者数	61	29	32	1	7	-	-	1	1	-	4	1	2	7	4	19	14
胃がん	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
がんの疑い	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
胃がん以外の疾患	53	26	27	1	7	-	-	1	1	-	2	1	1	7	4	16	12
異常なし	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	2

イ. 胃内視鏡検査

対象者 当該年度において50歳以上の偶数年齢の市民で2年度に1回

実施方法 実施医療機関に委託して、個別方式で実施

検査方法 胃内視鏡検査

検診料 4,000円

(ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和2年5月31日現在)

(単位:人・%)

区 分	総 数		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	414 (305)	162 (120)	252 (185)	12 (8)	30 (21)	8 (6)	26 (17)	14 (11)	46 (39)	36 (31)	41 (41)	92 (64)	109 (67)	
検診結果	精検不要者数	373	145	228	12	28	8	24	12	44	32	40	81	92
	要精検者数	41	17	24	-	2	-	2	2	2	4	1	11	17
	生検受診者数	41	17	24	-	2	-	2	2	2	4	1	11	17
	生検率	9.9	10.5	9.5	0.0	6.7	0.0	7.7	14.3	4.4	11.1	2.4	12.0	15.6
	検診時生検未受診のうち要再検査者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精検受診者数	41	17	24	-	2	-	2	2	2	4	1	11	17	
がん	胃がん	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	胃がんの疑い	6	5	1	-	-	-	-	-	1	-	4	1	
	胃がん以外の疾患	31	10	21	-	2	-	2	1	2	3	1	6	
	異常なし	3	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	

※ () (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

② 大腸がん検診

高齢化の影響もあり、大腸がんの死亡者数や死亡率は増加傾向にある。そこで本市では大腸がんを早期発見・早期治療することで、大腸がんの死亡率の減少を図ることを目的に大腸がん検診を実施している。平成2年度から老人保健法に基づき実施し、平成5年度からは医療機関に委託して実施している。平成30年度より集団特定健診と同時実施による集団方式を実施、令和元年度に5がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)セット検診を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

対象者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式

検査方法 便潜血検査(免疫便潜血検査2日法、OCセンサー方式)

検診料 600円

(ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

実施方法別受診者数

個別方式 15,080人 集団方式 1,305人(16回実施)

大腸がん検診結果

(単位:人・%)

	全 年 齢			(再掲) 40～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	108,101 (53,324)	40,742 (24,406)	67,359 (28,918)	48,098 (33,010)	16,327 (15,245)	31,771 (17,765)
受診者数	16,383 (10,218)	6,065 (4,018)	10,318 (6,200)	8,150 (5,721)	2,660 (2,213)	5,490 (3,508)
受診率	15.2	14.9	15.3	16.9	16.3	17.3
要精検者数	989	470	519	397	165	232
要精検率	6.0	7.7	5.0	4.9	6.2	4.2
精検受診者数	808	371	437	330	131	199
精検受診率	81.7	78.9	84.2	83.1	79.4	85.8
大腸がん	32	12	20	13	5	8
がん発見率	0.20	0.20	0.19	0.16	0.19	0.15

※精密検査受診結果については令和2年5月31日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※精密検査受診者数及び受診率については、原則指針に基づいた精密検査方法で実施しているもののみ計上する。

※ () (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和2年5月31日現在)

(単位：人・%)

区 分	総 数			40歳～44歳		45歳～49歳		50歳～54歳		55歳～59歳		60歳～64歳		65歳～69歳		70歳以上		
	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数	16,383	6,065	10,318	312	559	274	562	267	517	231	661	421	1,142	1,155	2,049	3,405	4,828	
(再掲)初回受診者数	4,022	1,486	2,536	211	358	96	238	86	194	80	217	149	347	321	430	543	752	
初回受診割合	24.5	24.5	24.6	67.6	64.0	35.0	42.3	32.2	37.5	34.6	32.8	35.4	30.4	27.8	21.0	15.9	15.6	
検診結果																		
精検不要者数	15,394	5,595	9,799	297	531	259	530	254	504	220	631	391	1,099	1,074	1,963	3,100	4,541	
要精検者数	989	470	519	15	28	15	32	13	13	11	30	30	43	81	86	305	287	
要精検率	6.0	7.7	5.0	4.8	5.0	5.5	5.7	4.9	2.5	4.8	4.5	7.1	3.8	7.0	4.2	9.0	5.9	
精検受診者数	808	372	436	12	22	11	27	9	10	10	25	26	40	63	75	241	237	
精密検査結果	大腸がん																	
	早期がん	18	7	11	-	-	-	-	-	-	1	1	1	3	3	3	6	
	進行がん	14	5	9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	4	6	
	大腸がん疑い	9	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	4	
	ポリープ																	
	腺腫性	406	221	185	4	2	4	5	4	2	4	7	15	19	39	30	151	120
	過形成性	63	30	33	1	1	1	4	1	2	-	3	2	2	5	5	20	16
	その他	10	8	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	6	1
	潰瘍性大腸炎	5	2	3	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2
	その他炎症性腸疾患	5	0	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	憩室	65	28	37	-	1	-	1	-	-	1	5	3	2	5	7	19	21
	痔核	59	19	40	1	5	1	9	2	2	2	2	3	6	2	4	8	12
	その他	11	2	9	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1	6
異常なし	143	47	96	6	11	4	7	2	3	1	7	1	9	6	19	27	40	

③ 肺がん結核検診

我が国のがんによる死亡者数は、現在、肺がんが最も多く、その罹患率及び死亡率は年々増加しつつある。そこで本市では、肺がんを早期発見・早期治療することで、肺がんの死亡率を減少させることを目的に、平成22年10月より肺がん検診を実施している。また、結核については、住民結核検診として65歳以上の者を対象に検診車による集団検診を実施していたが、平成26年度に肺がん検診に統合し、肺がん結核検診として、近くの実施医療機関で受診できるよう個別方式に変更した。平成29年度より集団特定健診と同時実施による集団方式を実施、令和元年度に5がん（胃・肺・大腸・乳・子宮）セット検診を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

対象者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 実施医療機関への委託による個別方式及び集団特定健診と同時実施による集団方式

検査内容 胸部エックス線検査、喀痰細胞診（対象者に条件あり。個別方式のみ）

検診料 胸部エックス線検査500円 喀痰細胞診1,000円

（ただし、70歳以上（胸部エックス線検査については65歳以上）の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者の喀痰細胞診は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

実施方法別受診者数

個別方式 17,703人 集団方式 1,179人（14回実施）

肺がん結核検診結果

(単位：人・%)

	全年齢			(再掲) 40~69歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	108,101 (53,324)	40,742 (24,406)	67,359 (28,918)	48,098 (33,010)	16,327 (15,245)	31,771 (17,765)
受診者数	18,882 (11,780)	7,348 (4,892)	11,534 (6,888)	8,248 (6,443)	2,877 (2,624)	5,371 (3,819)
受診率	17.5	18.0	17.1	17.1	17.6	16.9
要精検者数	1,040 [755]	481 [363]	559 [392]	343 [259]	148 [112]	195 [147]
要精検率	5.5 [4.0]	6.5 [4.9]	4.8 [3.4]	4.2 [3.1]	5.1 [3.9]	3.6 [2.7]
精検受診者数	933 [681]	422 [325]	511 [356]	312 [236]	134 [103]	178 [133]
精検受診率	89.7 [90.2]	87.7 [89.5]	91.4 [90.8]	91.0 [91.1]	90.5 [92.0]	91.3 [90.5]
肺がん	8 [8]	4 [4]	4 [4]	2	0	2
がん発見率	0.04	0.05	0.03	0.02	0	0.04

※精密検査受診結果については令和2年5月31日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※() (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

※[] 内の数字はE判定の結果 (E判定：X線検査及び喀痰細胞診の結果、肺がんを疑うもの)

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和2年5月31日現在)

(単位：人・%)

区分	総数	40~44歳		45~49歳		50~54歳		55~59歳		60~64歳		65~69歳		70歳以上			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
受診者数	18,882	7,348	11,534	232	468	289	536	281	471	237	595	489	1,103	1,349	2,198	4,471	6,163
(再掲)喀痰検査実施者数	1,263	1,137	126	-	-	-	-	25	6	37	11	82	21	273	34	720	54
(再掲)初回受診者数	4,207	1,582	2,625	134	276	105	232	89	176	64	220	176	380	364	462	650	879
初回受診割合	22.3	21.5	22.8	57.8	59.0	36.3	43.3	31.7	37.4	27.0	37.0	36.0	34.5	27.0	21.0	14.5	14.3
検診結果																	
精検不要者数	17,842	6,867	10,975	223	463	274	529	270	458	223	578	461	1,061	1,278	2,087	4,138	5,799
要精検者数	1,040	481	559	9	5	15	7	11	13	14	17	28	42	71	111	333	364
精検率	5.5	6.5	4.8	3.9	1.1	5.2	1.3	3.9	2.8	5.9	2.9	5.7	3.8	5.3	5.1	7.4	5.9
(再掲) E判定者数	756	363	393	6	3	13	6	8	7	9	15	21	33	55	83	251	246
E判定率	4.0	4.9	3.4	2.6	0.6	4.5	1.1	2.8	1.5	3.8	2.5	4.3	3.0	4.1	3.8	5.6	4.0
精検受診者数	682	325	357	5	3	12	6	8	7	8	14	21	30	49	73	222	224
精密検査結果																	
原発性肺がん	6	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	1
転移性肺がん	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
その他のがん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
がんの疑い	41	20	21	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	3	3	16	15
その他の肺病変	203	87	116	1	-	1	2	2	2	1	7	8	7	12	26	62	72
肺結核症	11	8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	7	-
その他	154	83	71	-	-	5	1	3	2	3	2	6	3	11	11	55	52
異常なし	265	123	142	4	3	5	3	3	3	4	5	7	15	22	30	78	83

④ 子宮頸がん検診

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が主な原因とされ、20～30歳代で増加傾向にある。子宮頸がんは早期に治療を行えばほとんどが治癒することから、早期発見が重要となっている。そこで本市では、子宮頸がんを早期発見、早期治療することで、子宮頸がんの死亡率を減少させることを目的に子宮頸がん検診を実施している。

平成10年度までは子宮がん検診として実施してきたが、平成11年度から有症状者を対象とする体部がん検診は医療の範疇として廃止し、子宮頸がん検診のみを実施している。また、平成17年度から、国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、本市でも対象年齢を30歳以上から20歳以上に変更し、受診回数は2年度に1回とした。平成23年度からは、受診機会の拡大を目的に、滋賀県内19市町が集合契約を締結し県内全域の委託医療機関で受診可能となった。令和元年度には5がん（胃・肺・大腸・乳・子宮）セット検診を実施した。

地方交付税の上乗せとして平成21年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成23年度から「がん検診推進事業」、平成26年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成27年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、令和元年度については21歳の昨年度未受診者に無料クーポン券を送付している。また、市単独事業として20歳全員に無料クーポン券、22歳～69歳の昨年度未受診者に対し、有料受診券を送付することで受診促進を図っている。

対象者 当該年度において20歳以上の女性市民で2年度に1回

実施方法 県内登録医療機関に委託して、個別方式で実施

検査内容 問診、視診、内診、子宮頸部の細胞診

検診料 1,000円

（ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

子宮頸がん検診結果 (単位：人・%)

	全年齢	(再掲) 20～69歳
対象者数	80,127 (33,245)	44,539 (22,092)
受診者数	10,681 (2,419)	10,050 (2,061)
前年度受診者数	13,005	12,512
連続受診者数	2	2
受診率	29.6	50.7
要精検者数	317	310
要精検率	3.0	3.1
精検受診者数	250	245
精検受診率	78.9	79.0
子宮頸がん	8	6
がん発見率	0.07	0.06

※子宮頸がん検診は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「連続受診者数」) / (当該年度の対象者数) × 100

※精密検査受診結果については令和2年7月31日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※がん発見率については上皮内腺がん(AIS)を除く

※精密検査受診者数及び受診率については、原則指針に基づいた精密検査方法で実施しているもののみ計上する。

※() (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

無料クーポン券利用状況

対象者数 3,446人 受診者数 189人 受診率 5.5%

年齢別検診結果及び精密検査受診結果（令和2年7月31日現在）

（単位：人・％）

区分	総計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
受診者数	10,681	537	713	999	1,120	1,338	1,378	1,032	810	980	1,143	631
(再掲) 初回受診者	5,186	441	507	559	584	553	659	434	354	346	473	276
初回受診割合	48.6	82.1	71.1	56.0	52.1	41.3	47.8	42.1	43.7	35.3	41.4	43.7
検診結果												
精検不要	10,364	513	673	952	1,084	1,295	1,326	1,001	792	973	1,131	624
要精検者数	317	24	40	47	36	43	52	31	18	7	12	7
要精検率	2.9	4.5	5.6	4.7	2.3	3.2	3.8	3.0	2.2	0.7	1.0	1.1
精検受診者数	250	21	31	35	30	36	38	25	12	7	10	5
扁平上皮がん I b 期～	5	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	2
扁平上皮がん I a 期	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
頸部腺がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
頸部腺がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
頸部がん(進行期不明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
頸部がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上皮内腺がん	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
体部内膜がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体部内膜がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体部内膜がん(進行期不明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
異形成高度	37	2	6	5	3	8	7	3	1	-	1	1
異形成中等度	30	3	7	4	9	3	2	-	1	-	1	-
異形成軽度	69	10	9	12	14	5	5	8	3	2	1	-
異形成不明	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
頸部腺異形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細胞診異常	9	1	3	1	-	3	1	-	-	-	-	-
内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膣炎	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
頸管炎	10	1	1	2	-	1	2	1	-	-	2	-
頸管ポリープ	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	8	1	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-
特記すべき病変なし	75	3	4	10	2	15	15	12	4	4	4	2
実施方法別内訳												
個別検診												
受診者数	10,650	537	713	999	1,120	1,328	1,375	1,030	808	975	1,139	626
初回受診者数	5,161	441	507	559	584	545	656	432	353	342	470	272
初回受診割合	48.5	82.1	71.1	60.0	52.1	41.0	47.7	41.9	43.7	35.1	41.3	43.5
精密検査結果												
精検不要者数	10,333	513	673	952	1,084	1,285	1,323	999	790	968	1,127	619
要精検者数	317	24	40	47	36	43	52	31	18	7	12	7
精検受診者数	250	21	31	35	30	36	38	25	12	7	10	5
扁平上皮がん I b 期～	5	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	2
扁平上皮がん I a 期	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
頸部腺がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
頸部腺がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
頸部がん(進行期不明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
頸部がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上皮内腺がん	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
体部内膜がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体部内膜がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体部内膜がん(進行期不明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
異形成高度	37	2	6	5	3	8	7	3	1	-	1	1
異形成中等度	30	3	7	4	9	3	2	-	1	-	1	-
異形成軽度	69	10	9	12	14	5	5	8	3	2	1	-
異形成不明	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

	頰部腺異形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	細胞診異常	9	1	3	1	-	3	1	-	-	-	-	-
	内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	膣炎	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
	頸管炎	10	1	1	2	-	1	2	1	-	-	2	-
	頸管ポリープ	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	8	1	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-
	特記すべき病変なし	75	3	4	10	2	15	15	12	4	4	4	2
集団 検診 検査 結果	受診者数	31	-	-	-	-	10	3	2	2	5	4	5
	初回受診者数	25	-	-	-	-	8	3	2	1	4	3	4
	初回受診割合	80.6	-	-	-	-	80.0	100.0	100.0	50.0	80.0	75.0	80.0
	精検不要者数	31	-	-	-	-	10	3	2	2	5	4	5
	要精検者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑤ 乳がん検診

乳がんは年々増加しており、40歳代後半が罹患率のピークになっている。乳がんの罹患率は女性のがんで1位となっているが、早期治療により治癒が可能と言われている。そこで本市では、乳がんの早期発見・早期治療により、乳がんの死亡率の減少を図ることを目的に乳がん検診を実施している。

平成13年9月までは30歳以上の女性市民を対象に視触診による乳がん検診を実施してきたが、平成13年10月から、50歳以上の女性市民を対象に視触診・マンモグラフィ併用法を一部導入した。平成17年度から国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、本市でも40歳以上の女性市民を対象とした視触診・マンモグラフィ併用法による乳がん検診に変更し、受診回数は2年度に1回とした。平成29年度からマンモグラフィ単独検診となったことで、集団検診の予約枠数が40人から60人に増加し、平成30年度は集団特定健診との同日実施で乳がん検診を実施、令和元年度に5がん（胃・肺・大腸・乳・子宮）セット検診を実施し受診機会の拡大を図っている。

地方交付税の上乗せとして、平成21年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成23年度から「がん検診推進事業」、平成26年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成27年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、令和元年度は41歳の未受診者に無料クーポン券を送付している。また、市の単独事業として、40歳全員に無料クーポン券、年度年齢43～69歳までの昨年度未受診者に有料受診券を送付することで受診促進を図っている。

対象者 当該年度において40歳以上の女性市民で2年度に1回

実施方法 登録医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式で実施

検査内容 マンモグラフィ単独法

検診料 個別検診で40歳代1,800円、50歳以上1,300円

集団検診で40歳代1,500円、50歳以上1,200円

（ただし、無料クーポン券交付者、70歳以上の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

乳がん検診結果 (単位：人・%)

	全年齢	(再掲) 40～69 歳
対象者数	67,359 (28,918)	31,771 (17,765)
受診者数	5,713 (2,048)	5,004 (1,595)
前年度受診者数	5,096	4,485
連続受診者数	0	0
受診率	16.0	29.9
要精検者数	531	483
要精検率	9.3	9.7
精検受診者数	508	460
精検受診率	95.7	95.2
乳がん	29	23
がん発見率	0.51	0.46

※乳がん検診は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「連続受診者数」) / (当該年度の対象者数) × 100

※精密検査受診結果については令和2年7月31日現在

※対象者数=年度当初人口-就業者数(平成27年国勢調査)+農林水産業従事者数(平成27年国勢調査)

※() (再掲) 大津市国民健康保険の被保険者

無料クーポン券利用状況

対象者数 4,030 人 受診者数 538 人 受診率 13.3%

年齢別検診結果及び精密検査受診結果（令和2年7月31日現在）

（単位：人・％）

区 分		総 数	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上	
受診者数		5,713	985	810	705	733	786	985	709	
(再掲) 初回受診者数		2,687	722	346	283	292	346	422	276	
初回受診割合		47.0	73.3	42.7	40.2	39.8	44.0	42.9	38.9	
検診結果										
精検不要者数		5,182	869	720	641	663	717	911	661	
要精検者数		531	116	90	64	70	69	74	48	
要精検率		9.3	11.8	11.1	9.1	9.5	8.8	7.5	6.8	
精検受診者数		508	109	83	60	69	66	73	48	
精密検査結果										
乳がん		29	1	-	1	4	8	9	6	
線維腺腫		50	18	7	3	6	5	3	8	
乳腺症		139	26	35	22	15	17	14	10	
その他		38	10	11	4	3	1	3	6	
乳がん疑い		-	-	-	-	-	-	-	-	
異常なし		252	54	30	30	41	35	44	18	
実施方法別内訳	個別検診	受診者数	4,911	820	653	604	656	701	875	602
		(再掲) 初回受診者数	2,279	596	281	249	253	303	377	220
		初回受診割合	46.4	72.7	43.0	41.2	38.6	43.2	43.1	36.5
		検診結果								
		精検不要者数	4,441	723	574	548	588	641	808	559
		要精検者数	470	97	79	56	68	60	67	43
		精検受診者数	450	91	74	52	67	57	66	43
		精密検査結果								
		乳がん	27	1	-	1	4	6	9	6
		線維腺腫	40	13	6	-	6	4	3	8
	乳腺症	124	24	31	19	15	15	11	9	
	その他	31	7	9	4	3	1	2	5	
	乳がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	
	異常なし	228	46	28	28	39	31	41	15	
	集団検診	受診者数	802	165	157	101	77	85	110	107
		(再掲) 初回受診者数	408	126	65	34	39	43	45	56
		初回受診割合	50.9	76.4	41.4	33.7	50.6	50.6	40.9	52.3
		検診結果								
		精検不要者数	741	146	146	93	75	76	103	102
		要精検者数	61	19	11	8	2	9	7	5
精検受診者数		58	18	9	8	2	9	7	5	
精密検査結果										
乳がん		2	-	-	-	-	2	-	-	
線維腺腫		10	5	1	3	-	1	-	-	
乳腺症	15	2	4	3	-	2	3	1		
その他	7	3	2	-	-	-	1	1		
乳がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-		
異常なし	24	8	2	2	2	4	3	3		

⑥ 胃がんリスク検診（胃の健康度検査）

平成24年10月より、従来の胃がん検診に加え胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を導入した。胃がんリスク検診は、胃がんリスクの高い人を早期に発見し、医療につなげることで、胃がんの死亡率の減少を図ることを目的に実施している。平成29年度より2巡目を迎え、令和元年度は2巡目の3年目となる。

対象者 当該年度において41歳、46歳、51歳、56歳、61歳の市民
（ただし、1巡目に受けた者を除く。）

実施方法 実施医療機関に委託し個別方式で実施

実施期間 令和元年6月から令和2年3月31日まで

検査内容 血清ペプシノゲン検査、血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査

検診料 1,300円

（ただし、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果（令和2年5月31日現在）

（単位：人・％）

区 分	総 数		41歳		46歳		51歳		56歳		61歳				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
受診者数	1,353	566	787	158	253	128	128	85	131	101	133	94	142		
検診結果	精検不要者数 A群	1,113	467	646	136	213	110	110	66	112	81	102	74	109	
	要精検者数	240	99	141	22	40	18	18	19	19	20	31	20	33	
	内訳	B群	170	78	92	17	34	15	12	16	13	15	16	15	17
	C群	70	21	49	5	6	3	6	3	6	5	15	5	16	
	要精検率	17.7	17.5	17.9	13.9	15.8	14.1	14.1	22.4	14.5	19.8	23.3	21.3	23.2	
B群	精検受診者数	113	49	64	6	25	11	8	11	10	12	9	9	12	
精密検査結果	B群	胃がん	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	胃がん以外の疾患	110	49	61	6	25	11	7	11	10	12	9	9	10	
	異常なし	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
C群	精検受診者数	48	11	37	2	4	3	4	1	6	3	9	2	14	
精密検査結果	C群	胃がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	胃がん以外の疾患	48	11	37	2	4	3	4	1	6	3	9	2	14	
	異常なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

検診後の除菌状況（令和2年5月31日現在）

（単位：人）

区 分	総 数		41歳		46歳		51歳		56歳		61歳			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
除菌者数	120	42	78	7	23	9	8	9	11	9	15	8	21	
内 訳	B群	78	34	44	5	20	8	4	8	5	7	7	6	8
	C群	42	8	34	2	3	1	4	1	6	2	8	2	13

(8) 健康診査

平成 18 年の医療制度改革において老人保健法が高齢者の医療の確保に関する法律に全面改正され、医療保険者に、40 歳以上 74 歳以下の被保険者及び被扶養者に対する生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導が義務付けられた。これに伴い、老人保健法に位置づけられていた事業のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に定められたもの以外については、健康増進法に基づく健康増進事業として市町村が引き続き実施することとされた。これにより平成 20 年 4 月 1 日から大津市国民健康保険の保険者として特定健康診査及び特定保健指導を、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け後期高齢者医療制度の被保険者を対象とした健康診査を実施している。また、医療保険に加入していない生活保護受給者等を対象とし、健康増進法に基づく基本健康診査を実施している。

① 後期高齢者健康診査

対象者 滋賀県後期高齢者医療制度被保険者

(ただし、平成 27 年度より、委託元である滋賀県後期高齢者医療広域連合の方針に従い、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象)

実施場所 県内登録医療機関において実施

実施期間 令和元年 7 月から令和 2 年 1 月 31 日まで

健診内容 基本項目 (問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査)

(受診状況)

(令和元年度)

区 分	総 数	65～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100 歳以上
対象者数 (人)	13,136	88	7,155	3,065	1,703	826	252	47
受診者数 (人)	3,685	16	2,440	822	306	82	17	2
受診率 (%)	28.1							

② 基本健康診査

対象者 当該年度において 40 歳以上で医療保険に未加入の大津市生活保護受給者等

(ただし、75 歳以上の者については、後期高齢者健康診査の対象者の変更に併せ、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外)

実施期間 令和元年 7 月から令和 2 年 1 月 31 日まで

健診内容 基本項目 (問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査)

追加項目 (血液検査、尿検査) ※75 歳未満の者のみ実施

詳細項目 (心電図検査、眼底検査、貧血検査) ※75 歳未満の該当者のみ実施

保健指導 ※75 歳未満の該当者で希望する者に実施

(受診者数)

(令和元年度)

区 分	総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70～74 歳		75 歳以上		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
対象者数 (人)	2,725	1,317	1,408	60	67	93	120	119	115	143	115	170	102	205	138	239	222	288	529
受診者数 (人)	250	125	125	5	5	7	8	11	8	14	11	14	8	23	11	30	27	21	47
受診率 (%)	9.2	9.5	8.9																